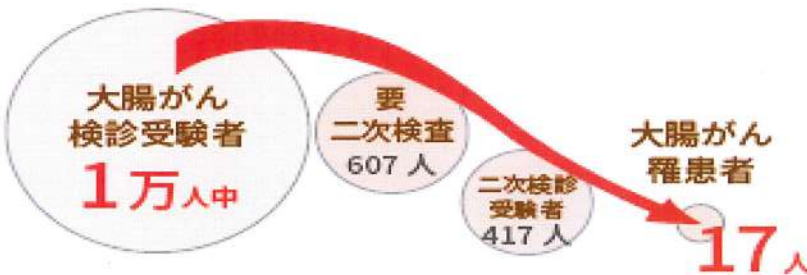


検査ニュース

忘れないで！ 大腸がん検診

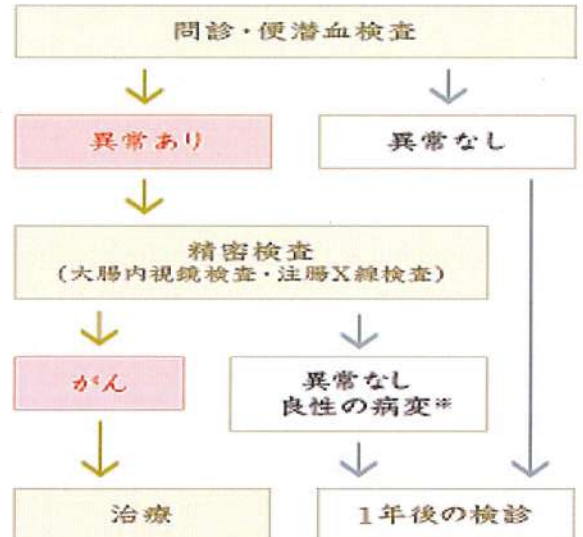
大腸がんは早期に発見して治療すれば、ほぼ治癒が可能です。便潜血検査を受診した1万人のうち、17名が大腸がんにかかっていたという報告があります。近年、大腸がんの死亡者数は食生活の欧米化もあり、年々増加しています。女性では死亡者数のトップ、男性では第3位となっています。

大腸がん二次検診を受ける必要のある人、がんが見つかる人の割合



日本対がん協会 2017年データ

大腸がん検診の流れ



現状の問題点

“異常あり”から精密検査(二次検査)を受けた方が、3分の2です。3分の1の方は受けていません。

大腸がん検診は大腸がんを見つけるためのものです。大腸ポリープは良性腫瘍ですが、大きくなれば癌化しますので、ポリープを発見して治療に結びつけることができます。早期発見し、治療を行えば、大腸がんは怖くありません。ぜひ大腸がん検診を受けましょう。

大腸がん(便潜血)検査は、青い袋のキットで提出



~~冬のマストアイテム！正しく使ってますか？~~

臨床検査技師 河合 佐妃子

冬にほっこりさせてくれる暖房器具と言えば、こたつやホットカーペットですが、適切に使っていますか？気持ちよくて、ついウトウトしてしまいがちですが、適度に電源をOFFにして、長時間の使用はやめましょう。洗濯物の乾燥は火災の原因になるのでやめましょう。石油ストーブ、石油ファンヒーター、ガスファンヒーターは、2,3時間に一度は空気の入替えをしましょう。電気ストーブやカイロは、皮膚が赤くなったり、ピリピリしたらすぐに使用をやめましょう。低温やけどの可能性もあります。温かくし過ぎず、水分補給を忘れず、くつろぎの時間を楽しんでください。あ！寝るときは、暖房器具は必ず、消しましょうね。